

## 経営発達支援計画の自己評価

### 個別事業に対するコメント

#### I 経営発達支援事業の内容

##### 経済動向調査

- ・景況調査は、丹波市の経済動向を把握する上で重要であり、アンケートに加え、ヒアリングの実施はより実態把握につながり有効である。
- ・四半期毎の短期的な状況、過去からの景況動向、次期の景況予想などの具体的なデータ活用に至っていない点について、次年度につなげていただきたい。  
また、平成30年度構築される中小企業支援システムにより、景況調査結果が一層有効に活用されるよう取り組みを進められたい。

##### 経営状況の分析

- ・目標設定が実際の取組みと乖離している点がある。実態に即し、誤解を招かない目標数値を設定いただきたい。
- ・③のその他経営分析の「その他」に含まれるものの認識、④再チャレンジの集計方法については確認が必要である。

##### 事業計画策定支援

- ・事業活動、事業展開していく上で各種計画策定には重要であり、ほぼ目標に達していることから、今後も引き続き策定支援に取り組まれたい。  
近年、特に後継者育成が大きな課題となっている。一朝一夕に効果が示せるものではないが、事業所の実態に即した計画策定の支援を期待する。
- ・セミナーを行う意義は、経営者に気づきを与え、経営者が実践する。その支援を商工会が行う。これを認識する場にもすることも大事。よって、セミナーは聞くだけでおわりとするのではなく、講義を通じ今日はどう実践するかを考える場である旨の告知か、講演後のアンケート情報を事務局で共有し、その後のフォローに繋げるなどの対応が必要である。

##### 事業計画策定後の実施支援

- ・定期的、計画的な巡回相談に取り組まれている。継続的な取組みを期待する。

##### 需要動向調査

- ・目標未達成を受け、同調査取組みへのアプローチを再考されたい。  
(業種を絞る等の検討が必要。お店任せでは無理である。)

##### 新たな需要の開拓に寄与する事業

- ・効果的な販路開拓には、プレゼンが重要である。プレゼンに対する支援の充実に取り組まれたい。

## II 地域経済の活性化に資する取組み

- ・全てにおいて概ね計画を達成されている。ただし、今後新規出店や支援先既存店が継続して事業を営めるかモニタリングは必要である。

## III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

- ・いずれも目標数値を達成しており、各項目とも引き続き積極的な取組みをしていただきたい。
- ・起業支援について、創業後のフォローアップが重要であり、今後一層意識していただきたい。
- ・平成 29 年 10 月の委員の意見を的確に反映されている。
- ・各項目における検証について、幅広い視点を持ちアンケート結果を分析し、次年度に反映させていただきたい。

## 総合的なコメント

各事業評価項目間で、個々の評価に高低あるが、概ね全体としての目標は達成できていると評価する。ただし、極端に目標が達成できていない項目があったり、逆に当初の目標を大幅に上回って目標達成できている項目があったり、目標数値の設定自体に無理があり又は目標が低かったのではないかとと思われる項目があったのが気になる。

セミナー等で終了後に受講者アンケートをされているが、その回答内容に沿ったアフターフォローにも力を入れることで、商工会への信頼度アップや商工会職員の指導力アップにも繋がっていくのではないかと考える。

既存の経営者の経営指導のみならず、中心市街地活性化事業や起業者のための支援、地域資源を活かした新商品開発支援など地域経済活性化のための事業にも取り組んでおられる様子が見えてきた。

今後とも地域経済の活性化をめざし、より多くの指導経験や自己研鑽を行なうなど、職員一人ひとりのスキルアップにも励んでいただきたい。